

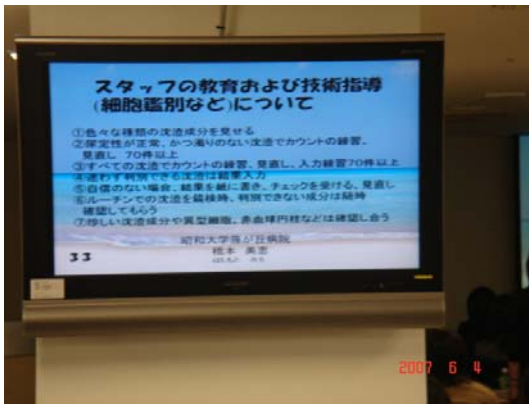
第 41 回 国公立大学病院臨床検査技術者研修（平成 19 年度）が 6 月 4 日から 8 日までの 5 日間、東大病院中央診療棟の 7 階の大会議室で執り行われました。平成 19 年度は一般検査領域における研修が実施されました。

全国の国公立大学病院 88 施設から 88 名の研修生が参加しました。当院検査部の見学研修も含め連日、8 時半から 18 時まで活発な討議と研修が行われました。いわゆる尿検査、尿沈渣検査、髄液検査を代表とする一般検査の知識を習得するのみならず、尿検査・髄液検査の 24 時間体制や一般検査の自動化、形態検査の内部精度管理、形態検査の技術指導のあり方などを討議しました。また、今回の研修の特色に ISO15189 認定に必要な知識や意義を研修した点が上げられます。研修会修了日の 6 月 8 日には文部科学省より研修修了書が授与されました。

受講生は各施設に帰院後、この研修会で学んだ知見を日常業務に広く生かされることと祈念致します。



講義：総合討議：大学病院における一般検査の使命（各論：一般検査における技師の技術指導と教育について）



講義：泌尿器科領域における臨床検査の重要性について



症例検討：尿沈渣に認められた異常細胞について鏡検研修



パネルディスカッション：テーマ「尿・髄液検査の24時間体制について」
3名の演者との総合討議を実施